

県立工業技術センター研究課題評価シート【令和2年度】

[事後評価]

No.	研究課題名	研究の概要 研究の成果	評価結果及び委員コメント	提案機関へのアドバイス
	主担当部署			
	研究期間			
5	<p>新規ジルコニウム鞣剤を用いた鞣しに関する研究</p> <p>皮革工業技術支援センター</p> <p>令和元年度 (1年間)</p>	<p>県内企業では最近、日本に新規ジルコニウム鞣剤を輸入した。この鞣剤で鞣すと非クロムで耐熱性が高い革を製造できる。従来の非クロム鞣しでは液中熱収縮温度が 90℃以下であり、靴用革など耐熱性が必要とされる革を製造することができなかった。また、クロム鞣しで製造した革は靴製造工程において加熱した後、六価クロムが発生する可能性があり、靴メーカーは対応を求められている。</p> <p>小型ドラムで試作して鞣し条件を確立後、県内企業三社において、現場レベルで試作を行った。その結果、試作した革で日本エコレザー基準認定取得に成功した。実用化まで到達し、当初計画を達成できたと考えている。</p>	<p>【達成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コスト削減、高耐熱性のエコレザーの製作は兵庫県の皮革産業に大きく貢献すると思います。 ・企業への技術支援等を通して機関の役割を果たしていると思われる。適切な試験分析や普及のための努力は大いに評価できる。 ・技術的にもビジネス的にも成功しており、高く評価できる。 ・日本のタンナーが生き残るために不可欠な検討である。目標を達成して、製品が作られている。 ・立派な成果を上げておられることは大いに評価できる。 ・試作段階で日本エコレザー基準認定取得レベルにまで達成できたことは高く評価できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実用化も進んでおり、研究を進めて欲しいと思います。今後の研究の発展に期待します。 ・Kyoto leather のような新しい切り口のパートナーと伝統的な産業の両方でうまく進めていただきたい。 ・基本的には海外の薬剤とプロセスを使っていますが、少しでも日本オリジナルな部分があればいいのですが。引き続き、検討をお願いします。 ・成果をより広く実用に繋げて行っていただきたい。ノウハウが貴重だということであるが、そのノウハウの蓄積、伝承にもセンターが協力して頂ければ、業界への貢献も大きいと考える。 ・企業とのさらなる連携と展開を期待します。